

平成23年度
デルフザイル市
友好親善訪問団派遣事業

デルフザイル市

友好親善訪問団報告書



周南市



あいさつ

周南市では、姉妹都市交流事業の一環として、友好親善と相互理解を深めるとともに、国際感覚の豊かな青少年を育成することを目的に、中高生を姉妹都市へ派遣する事業を行っております。平成二十三年度は、オランダのデルフザイル市に中学生十人、高校生五人、同行職員一人の計十六人を派遣しました。

デルフザイル市への訪問は、平成二年の姉妹都市提携以来、今回で十回目となりましたが、各団員たちは、多少、ことばの壁は実感したようですが、訪問先でホームステイをしながら、デルフザイル市の

人々とさまざまな活動を通して、オランダの伝統や文化を吸収するとともに、日本の伝統文化を伝えるなどし、積極的な交流に努めてこられました。この報告書は、こうした団員一人ひとりのかけがえのない貴重な体験や感動をありのままに綴ったものです。

このたび団員として参加された皆さんには、今回の体験で得たことを学校や地域の多くの人たちに紹介していただくとともに、今後の本市の国際交流活動にも積極的に参加、協力され、将来、国際化社会の中で活躍される人になっていただきまますよう期待いたしております。

終わりに、本事業の実施にあたり、デルフザイル市役所や実際に日々の活動プログラムを計画された姉妹都市交流財団の方々、さらには、団員を温かいおもてなしで受け入れていただきましたホストファミリーの方々から感謝申し上げます。

周南市長 木村健一郎



姉妹都市提携までの あゆみ

国際化時代がさげばれる中、姉妹都市の必要性を認識し、候補地を探していたところ、地元企業である株式会社東ソーにより、オランダのデルフザイル市が紹介された。両市は国際貿易に基本を置く港湾化学工業都市であるという類似した都市形態を背景に、お互いの文化、生活様式の相違性の理解を深めることが大切であるとし、平成2年5月22日に姉妹都市提携調印団をデルフザイル市に派遣して、調印を行った。





Delfzijl

Netherlands Groningen (オランダ フローニンゲン)

デルフザイル市について。

市の概要

デルフザイル市は、オランダのフローニンゲン州北部に位置する港湾都市である。岩塩と天然ガスの発見により化学工業を主体とする工業の街として発展した。また、自然の良港を有し、周南市と都市形態が似ている。住宅街はレンガ造りの瀟洒な家並みが並び、自然を多く残した美しい街である。(デルフザイルという名は、デルフ川にあった水門「ザイル」に由来している。)

- 人口／約2万7000人
- 面積／約22.7km²
- 言語／オランダ語、英語
- 通貨／ユーロ (EURO)
- 交通／アムステルダムから車で約3時間



概略日程

8/3(水)	<ul style="list-style-type: none"> ● 6:32 ● 7:39 ● 10:50 ● 15:00 	周南市 福岡 福岡空港 香港	徳山駅発(新幹線こだま 821号) 博多駅到着、地下鉄で福岡空港へ、出国手続 福岡空港発(キャセイパシフィック航空 511便) 香港到着、市内視察
8/4(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 00:15 ● 6:35 ● 17:00 	香港 アムステルダム アムステルダム	香港発(キャセイパシフィック航空 271便) アムステルダム スキポール空港着、入国手続 市内視察(国立博物館、アンネの家等)、デルフザイルへ デルフザイル市到着 市役所にて歓迎会、ホストファミリー面会 ホームステイ
8/5(金)	<ul style="list-style-type: none"> ● 午前 ● 13:00 ● 18:00 		ホストファミリープログラム 交流会(アーチェリー、いかだ作りなど) バーベキュー ホームステイ
8/6(土)	<ul style="list-style-type: none"> ● 10:00 ● 13:50 ● 17:30 	デルフザイル	シーポーツ社視察 エームスハーフェン視察 美術館視察 パンケーキ作り ホームステイ
8/7(日)	<ul style="list-style-type: none"> ● 終日 		ホストファミリープログラム ホームステイ
8/8(月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 10:00 ● 13:00 ● 18:30 		ファームサム散策(エオリスの風車、教会) 農場見学 市役所にてお別れ会 ホームステイ
8/9(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 8:00 ● 11:00 	ユトレヒト	デルフザイル市出発 ユトレヒト到着、市内視察(オルゴール博物館、ドム塔 ディック・ブルーナー・ハウス等) ホテル到着、宿泊
8/10(水)	<ul style="list-style-type: none"> ● 10:15 ● 11:00 ● 14:00 	アムステルダム	ユトレヒト出発 空港へ スキポール空港到着、出国手続 スキポール空港出発(キャセイパシフィック航空 270便) 機内泊
8/11(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 7:05 ● 11:10 ● 15:25 ● 17:20 ● 18:40 	香港 香港 福岡 福岡 周南市	香港着、乗り換え 香港出発(キャセイパシフィック航空 6700便) 福岡空港着、入国手続、地下鉄で博多駅へ 博多駅発(こだま 758号) 徳山駅着

平成 23 年度
Delfzijl
友好親善
訪問団



デルフザイル市 友好親善訪問団の名簿

デルフザイル市役所前にて

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 13 | 周南市立岐陽中学校 1 年
有吉 花香 Hanaka Ariyoshi | 29 | 山口県桜ヶ丘学園晃英館中学校 2 年
坂井 大悟 Daigo Sakai |
| 15 | 周南市立須々万中学校 1 年
田辺 萌絵 Moe Tanabe | 31 | 山口大学教育学部付属光中学校 1 年
温品 初音 Hatsune Nukushina |
| 17 | 周南市立周陽中学校 2 年
高橋 遼太郎 Ryotaro Takahashi | 33 | 山口県立徳山高等学校 2 年
金澤 美里 Misato Kanazawa |
| 19 | 周南市立周陽中学校 2 年
長廣 将就 Masanari Nagahiro | 35 | 山口県立徳山高等学校 2 年
藤田 彩加 Ayaka Fujita |
| 21 | 周南市立翔北中学校 3 年
廣林 早希 Saki Hirobayashi | 37 | 山口県立徳山高等学校鹿野分校 3 年
神田 千愛 Chiaki Koda |
| 23 | 周南市立福川中学校 2 年
田中 亜実 Ami Tanaka | 39 | 山口県立下松高等学校 2 年
田中 ひかり Hikari Tanaka |
| 25 | 周南市立熊毛中学校 1 年
岡成 そよか Soyoka Okanari | 41 | 山口県桜ヶ丘高等学校 3 年
前岡 里緒 Rio Maeoka |
| 27 | 山口県桜ヶ丘学園晃英館中学校 2 年
木原 優宏 Masahiro Kihara | 43 | 周南市役所企画総務部人事課
長尾 祐子 Yuko Nagao |

長尾です。



エメ市長

友好親善訪問団の活動の様子

(8月3日~11日)

同行者:長尾 祐子 記

Let's Go!

8月3日(水)

第一日目。早朝6時30分に周南市を出発し、福岡空港から香港に向かいました。

香港では、乗り継ぎの時間を利用して市内観光をさせていただきました。寺院の参拝や女人街の散策など、香港の雰囲気を楽しみました。特に、ビクトリアピークから臨む百万ドルの夜景は、圧巻でした。その後、オランダ・スキポール空港に向けて深夜、香港を出発しました。



香港観光



女人街の散策



ビクトリアピークから百万ドルの夜景

8月4日(木)

第二日目。香港から約12時間。オランダに到着しました。香港では深夜に出発だったので、団員達は少し疲れた様子でしたが、オランダに到着すると、オランダならではの風車や街並に、気分も新たに元気よく観光をしていました。写真は、アムステルダムのレストランで、名物料理のウィナーシュルツを食べているところです。このころになると、団員同士がかなり打ち解けてきた様子でした。アムステルダムでは、アンネフランクの家や、国立博物館などを見学しました。



アムステルダムのレストランで昼食

朝霧の中の風車





市庁舎前で

アムステルダムからバスで3時間。ようやく、デルフザイル市に到着しました。市庁舎の前では、音楽協会のみなさんが楽器を演奏して、歓迎してくださいました。音楽協会のみなさんが木靴をはいているのを見て、オランダに来たことを改めて実感しました。

議場で行われた歓迎会では、田辺さんが流暢な英語で挨拶してくれました。エメ市長の歓迎の挨拶のあと、いよいよホストファミリーの紹介です。みんな、自分のホストファミリーと初めて対面して、少し緊張している様子でしたが、ホストファミリーが温かな笑顔で迎えてくれたので、安心できたようです。



いよいよホームステイが始まるよ〜。
ドキドキ…



議場での歓迎会の様子



ホストファミリーとの初対面



8月5日 (金)

ホストファミリーの家に泊まって、初めての朝です。午前中は自由時間でした。私と添乗員の矢野さんは、ヒネカ夫人と屋台が出ているお祭りにでかけたのですが、そこで、ほとんどの団員と出会うことができました。初めての朝でみんな大丈夫だったかなと思っていたのですが、楽しそうにホストファミリーと一緒にいるのを見て、安心しました。



添乗員の矢野さん





苦勞したいかだ作り

午後からは、みんなで集合して、アクティビティ活動を行いました。4班に分かれて、いかだづくりと、アーチェリーの挑戦です。いかだづくりは、みんな悪戦苦闘していました。ロープ結びなど慣れない作業で少し難しかったようです。完成していよいよ川に浮かべて乗りこみましたが、結果はバランスを崩して川にどぼん……。8月とはいえ、オランダは日本でいえば、4月くらいの気温なので、みんなかなり寒そうでした。でも、自然の中で思いっきり体を動かして、リラックスすることができたようです。



川に落ちてしまいました！！



アーチェリー



その日の夕食は、みんなでバーベキューをしました。この頃になると、ホストファミリーともかなり打ち解けてきた様子です。自分のホスト以外のファミリーとも積極的に話している団員もいました。みんなのお肉を焼いて、渡してくれているホストファミリーが多く、優しさや気遣いを感じました。

食事の後は、オランダの伝統ゲームで遊んだり、楽しく過ごすことができました。



皆で楽しく食べました。
美味しかったです。

8月6日(土)



シーポーツ社の見学の様子

デルフザイル市を代表する企業である、シーポーツ社の教育施設を見学しました。シュミレーションゲームなど、遊びながらシーポーツ社の仕事について学ぶことができました。

その後は、エームスハーフェンという、エネルギー施設を、バスの中から視察しました。みんな興味深そうに見ていました。印象に残っているのは、巨大な風力発電の数の多さです。聞けば、オランダはエネルギーの三分の一を風力発電で賄っていて、原子力発電に頼らない、自然エネルギー大国とのことでした。オランダのクリーンエネルギーに対する意識の高さを感じることができました。



巨大な風力発電風車群

巨大な風力発電風車の数にビックリ！オランダは近代的な風車の国であることを実感しました。



夕食は、みんなでオランダの伝統料理であるパンケーキを焼きました。日本でいったら、たこ焼き器のような、パンケーキ焼き器がオランダの各家庭にはあるそうです。めずらしさもあって、みんな楽しそうにパンケーキを焼いていました。

この頃になると、みんな自然とホストファミリーと一緒に行動をとることが多くなってきていました。英語で会話しているのが聞こえてきたり、コミュニケーションがちゃんと取れるようになっていました。



8月7日(日)

日曜日は終日ホストファミリープログラムの日でした。ホストファミリーとの過ごし方は、アザラシの保護センターを見学したり隣国ドイツまで遊びに行ったりと様々だったようですが、いずれも団員達にとってホストファミリーとの交流を深められた、とても充実した1日だったようです。

ローズガーデンで エメ市長、ヒネカ夫人と





オランダで唯一の海の上に立つ
レストランで 夕食会の様子

私は、ホストファミリーのエメ市長とヒネカ夫人に、動物園やローズガーデンなど色々な場所に連れて行ってもらいました。また、その日の夜は、お世話になった関係者の皆さんとの夕食会がレストランで開かれ、楽しく過ごすことができました。（右から、添乗員の矢野さん、私、姉妹都市交流財団のヨハネス夫妻、リチャード、事務総長さんです。）皆さんには滞在中のプログラムの運営等で本当にお世話になりました。

8月8日（月）

いよいよ最後のプログラムです。午前中はファームサムを散策しました。教会でパイプオルガンを聞いたり、永源山公園にある風車のモデルになった、エオリスの風車を見学しました。

午後は、廣林さんのホストファミリーであるダーウィンケル家の農場を訪問させていただき、農場の仕事について学びました。機械化された牛の搾乳器に、時間ごとに牛が自ら進んで入っていく様子に、団員一同驚いたり、感心していました。



永源山公園の
ゆめ風車のモ
デルになった
エオリスの風
車の前で

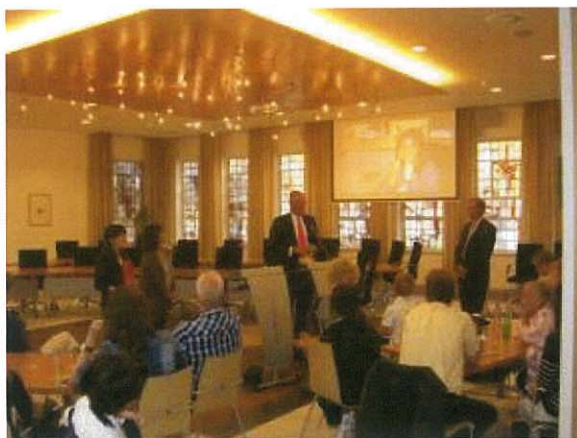


農場見学の様子



見慣れない私たちに興味津々の牛たち

お別れ会の様子



心を込めて皆でトトロを合唱



夕方から、お別れ会が市役所で行われました。オランダの伝統料理をいただきましたが、どれも大変おいしかったです。また、エメ市長や財団のヨハネスさんから、周南市へ心のこもったプレゼントもいただきました。

前岡さんと神田さんが、ホストファミリーやお世話になった方々へのお礼や、ホームステイで自分が感じたことなどを英語でスピーチしてくれました。

最後はこの5日間の感謝の気持ちを込めて、有吉さんに曲の紹介をしてもらった後、トトロをみんなで歌いました。みんな、大きな声で心を込めて歌っていました。最後は、聞いてくださったみなさんから手拍子もいただき本当に感激しました。記念にみんなでホストファミリーとたくさん写真を撮り合って、楽しかった思い出をしっかりと焼付けました。

8月9日（火）



お別れの朝です。5泊6日とお世話になり、温かく迎え入れてくれた感謝の気持ちや、別れの悲しさなど、胸がいっぱいになりました。泣いているみんな、なんとか笑顔でお別れしようとするみんな、そして、力いっぱいやさしく抱きしめてくれたホストファミリー。本当に、心からお互いのことを思っていることが伝わってきました。短い間に、こんなにも深い交流ができたのだと実感する瞬間でした。

お世話になったみなさんや、ホストファミリーとお別れするのは本当に辛くなりましたが、最後はバスの中から、ありがとうという気持ちを込めてみんなで手を振りました。そして、私たちのバスが見えなくなるまで、ずっと手を振り続けてくれていたホストファミリーの姿をきっと忘れることはないでしょう。

最後に、ユトレヒトを観光しました。まだ、少しファミリーとの別れの寂しさが残っていましたが、ドム塔では、400 段の階段をみんな元気に上まで登って行きました。眼下のオランダの街並みをしっかりと目と心に焼き付けて、オランダで過ごした日々をこれからの大切な思い出にしてほしいと思いました。

ユトレヒトでは、他にディック・ブルーナ・ハウスやオルゴール博物館を観光し、市内のホテルに宿泊しました。



ドム塔から見たユトレヒトの街並



ホテルでの夕食



ドム塔の頂上で皆と

8月10日(水)、11日(木)

ユトレヒトで宿泊した翌朝、スキポール空港へ向かいました。ホームステイ中はお土産を買う機会がなかったため、団員達は空港でオランダのお土産をたくさん買っていました。「日本に帰りたくない、まだオランダにいたい」という団員もいれば、「日本食が食べたい」という団員もいて様々でしたが、いざオランダを旅立つ時間が迫ってくるとみな一様に名残惜しそうな感じでした。

12時間かけて香港に到着しました。8日ぶりの香港です。空港で4時間待機した後、いよいよ福岡空港に向けて飛行機が飛び立ちました。最後のフライトです。機内では、もうすぐ日本に帰れるという安心感からか、はしゃいでしまった団員もいましたが、初日の様子からは信じられないほど、本当に団員達皆が仲良くなっている様子が見て取れました。

福岡空港に到着した後は、重いスーツケースを持っての移動が多く、団員達は大変だったと思いますが、添乗員の矢野さんの指示通りにてきぱきと動いてくれました。徳山駅に到着し、新幹線の中から保護者の方や協働推進課の方が出迎えてくれている姿を見たときは、本当にほっとしたのを覚えています。団員達を無事に保護者の方の元に送り届けることが、私の同行者としての責務の第一だと思っていたので、その責任が果たせたことに本当に安堵しました。

徳山駅構内で解団式が行われ、いよいよ9日間にわたる友好親善訪問団の活動が終わりを告げました。出発時は少し不安そうで頼りなさげに見えた団員達でしたが、見違えたようにいきいきとした表情で輝いて見えました。9日間の経験は団員たちを一回りも二回りも大きくさせたと思います。そして、団員達とこのような経験が出来たことに私自身も感謝の気持ちでいっぱいになりました。この9日間の経験を今後の人生の糧にしてほしいと願いながら、頼もしくなった団員達の背中を見送りました。



一生の思い出に残る夏でした。
オランダの人々、景色、食べ物
全てが懐かしく思えます。また、
出会えることを願って…
See you again!

Delfzijl Map



★☆☆ Pictures ★☆☆

デルフザイル市訪問までの事前説明会や帰国後の報告会の様子を紹介します。



事前説明会の様子（6月～7月）



4月29日 募集説明会（市民館にて）



お別れ会の出し物練習（合唱）



保護者の前で歌の披露

7月27日（水）壮行会

デルフザイル市訪問に向け、団員一人ひとりが現地で体験したいことや達成したい目標を発表しました。



壮行会後は、出発前の最後の説明会を行いました。次に皆さんと会う日は、いよいよデルフザイル市へ旅立つ日です！ 元気な姿で会いましょう。

8月3日（水）出発

いよいよ出発の日です！
当日は皆さんの門出を祝福
するような晴天でした。
皆さんの添乗を務める矢野
さんとの初対面。
保護者の方に見送られ、周
南市を出発しました。



いよいよ新幹線に乗り込み、出発！
人生に一度きりの夏、最高の思い出
を作ってきてください♪

近畿日本ツーリスト
添乗員の矢野さん



8月11日（木）帰国



長旅、お疲れ様！ おかえりなさい！

あっという間に9日間が
過ぎ、帰国の日を迎えま
した。

徳山駅のホームへ降り立
った団員の皆は、出発時
の緊張した雰囲気とは違
い、笑顔があふれていま
した。
団員同士、とても仲良
くなった様子でした。デル
フザイル市の方、そして
団員同士、今後も末永く
交流を続けてほしいと思
います。

8月27日（土）報告会



帰国後、報告会を開催し、団員一人ひとりがデルフザイル市
での体験発表をしました。街並みが綺麗だったこと、ホストファ
ミリーの優しさに感動したことなど、皆それぞれに心に残った
ことを発表しました。
皆さんと会うのは、今日が最後ですが、またいつか会える日
を楽しみにしています。



♪ デルフザイル市滞在中お世話になった方々 ♪

大変お世話になりました。ありがとうございます！ Dank u wel !!



Family van Hommert



Family Buffinga



Family Boonstra



Family Vos



Family Darwinkel



Family Bouman



Family Postema



Family Ronde



Family Slim



Family Hinrichs



Emme Groot 市長

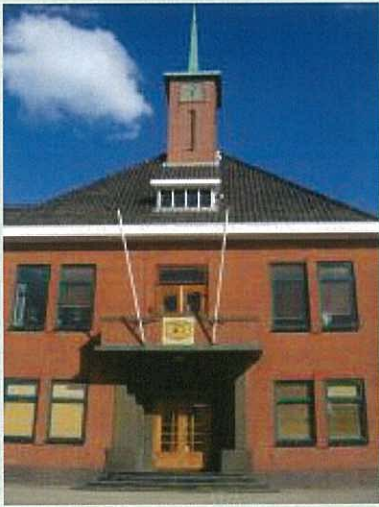
姉妹都市交流財団
Johanes Swart 代表



Gineke Groot 市長夫人

添乗員 矢野 十和子さん



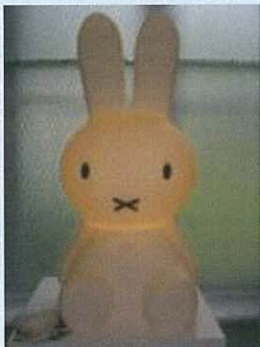


Delfzijl





Amsterdam & Utrecht





発行 周南市環境生活部
協働推進課 国際・都市交流室

〒745-8655

山口県周南市岐山通1-1

TEL(0834)22-8591

FAX(0834)22-8338

<http://www.city.shunan.lg.jp>